

老朽原発高浜 1・2号の再稼働反対

高浜 1号原子炉容器は事故時に割れる危険がある



当面の再稼働審査の対象は高浜 3・4号であるが、それが通れば関電は高浜 1・2号をも動かすつもりで、2013年 11月 12日付で高浜 1号に関する原子炉施設保安規定変更認可申請書を提出している(2号は 2014年 11月 11日付)。

ところが、高浜 1号の原子炉容器の脆性遷移温度は、玄海 1号をも上回って全原発のトップに立っている。それゆえ、事故時に冷却水が注水されると容器内表面が収縮し、小さな傷がきっかけとなって割れる恐れがある。

このような危険が迫る状況避けるためにも、老朽原発高浜 1・2号の再稼働に反対しよう。

高浜町での署名・アンケート配布の戸別訪問に協力した際に、町の皆さんからは、老朽原発高浜 1・2号の再稼働に反対と不安の声が多く聞かれた。

